

例言

一、この『岩崎文庫貴重書書誌解題』のX輯は、前半に菱川師宣絵本をまとめ、後半に仮名草子をまとめた。IX輯までに収録されていないものの解題と図版を掲げる。

一、配列は、各分類内のアイウエオ順によっている。本書における通し番号を【1】～【101】のように示した。また、東洋文庫のデータベース上の番号をDB No.【1】の中の数字で示した。

一、解題は、おおよそ、

○時代と外形に関する事項

○書名に関する事項

○序・跋・識語・刊記などの事項

○印記・書入れなどの付帯的事項、または参考事項の四条に分けて記す。

一、解題にあたっては、主として以下の資料を参照した。

・貴重本刊行会、岩崎文庫貴重本叢刊〈近世編〉第二卷『仮名草子』（一九七四）

・貴重本刊行会、岩崎文庫貴重本叢刊〈近世編〉第五卷『菱川師宣絵本』（一九七四）

・岩波書店『日本古典文学大辞典』第一卷～第六卷（一九八三～一九八五）

・勉誠社『近世文芸資料類従・仮名草子編』1～38（一九七二～一九七九）

・東京堂書店『假名草子集成』第一卷～第六十五卷（一九八〇～二〇二二）

・千葉市美術館『菱川師宣展』図録（二〇〇〇）

・青裳堂、松平進氏著、日本書誌学大系57『師宣祐信繪本書誌』（一九八八）